



「オンリーワンがここにある！」

島根県立盲学校

所在地：〒690-0122 松江市西浜佐陀町468
電話番号：(0852) 36-8221
FAX 番号：(0852) 36-8222
Eメール：mogako@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://www.shimanet.ed.jp/moh/



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

- ◆普通科 単一障がい 1学級
重複障がい 1学級
- ◆保健医療科 単一障がい 1学級
重複障がい 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。



高等部生徒数 5名 (R4.5.1現在)



学校の特徴

視覚障がいを有する人に対して専門教育を行う、県内唯一の教育施設です。

通学が困難な人のために、小学部から入舎できる寄宿舎も設置しています。

【入学資格】

- ◆両眼の視力が矯正で概ね 0.3 未満の人
- ◆視力以外の高度な視機能障がい（視野狭窄など）があり、文字や図形などの認識が困難な人

【教育方針】

豊かな人間性の育成

- ◆心身の鍛錬
- ◆社会性の涵養
- ◆自己教育力の育成

【学校の歴史】(創立 117 年目)

明治 38 年 (1905 年)、福田与志先生により松江私立盲啞学校として創立され、島根県における特別支援教育の先駆けとなりました。その後、昭和 23 年 (1948 年)、ろう学校と分離し、視覚障がい教育の専門校として現在に至っています。

【教育課程の特徴】

幼稚部、小学部、中学部、高等部（普通科、保健医療科）、専攻科（理療科、保健医療科）があり、一人一人の障がいに応じた学習に取り組んでいます。また「自立活動」の学習では、白杖を使った歩行練習や点字の読み書き、弱視レンズや情報機器の使い方等の学習をととして、自立し社会参加する力を身に付けます。様々な学校との交流および共同学習も行っています。

◆高等部普通科

高等学校普通科に準ずる教育を行っています。また、一人一人の実態に応じて教育課程を編成した学習も行います。就職・進学につながる支援も行います。

◆高等部保健医療科

あん摩、マッサージ、指圧の職業教育を行っています。普通科目に加えて、解剖やあん摩実習などの専門科目を学習します。全ての単位を修得すると、あん摩マッサージ指圧師国家試験受験資格を得ることができます。卒業後は主に訪問マッサージ、高齢者施設などに就職しています。

【主な行事】

- 5 月：◆体育祭 6 月：◆中国・四国地区盲学校弁論大会
- 10 月：◆学園祭 3 月：◆旅立ちを祝う会

【部活動】

〈運動部〉サウンドテーブルテニス、フロアバレーボール…

中国・四国地区盲学校体育大会に参加

〈音楽部〉合唱等…合唱コンクール・学園祭等に参加



フロアバレーボール



島根県立 松江ろう学校

所在地：〒690-0121 松江市古志町191-6

電話番号：(0852) 36-7222

FAX 番号：(0852) 36-7223

Eメール：matsurou@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/matsurou/



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

- ◆普通科 単一障がい 1学級
- ◆産業技術科 単一障がい 1学級
- 重復障がい 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。



高等部生徒数 8名 (R4.5.1現在)



学校の特徴

概要

- ◆明治38年に松江私立盲啞学校として開校し、令和4年度には創立117周年を迎えた歴史ある学校です。
- ◆聴覚障がいのある生徒に対して専門的な教育を行うとともに、一人一人の教育的ニーズを把握し、社会自立に必要な力の育成に努めています。
- ◆幼稚部、小学部、中学部、高等部（本科、専攻科）を設置し、寄宿舎も併設しています。学校給食があります。
- ◆高等部（本科）には、普通科と産業技術科があり、教科学習や体験的な活動を通して、社会自立や職業自立、自己実現を目指しています。

キャッチフレーズ（平成30年度 生徒会作成）

手と心でつながる わかりあえる喜び
～笑顔あふれる 松ろう～

高等部の目指す姿

- ・挑戦し続け、自己実現していく生徒
- ・自ら社会参加する生徒

【各科の特色】

◆普通科

進学希望の生徒に対し、個に応じた学習を行い、学力を養います。2年次から進路希望に応じた教科等の選択ができます。

◆産業技術科

2つのコース（産業工芸・生活デザイン）があり、専門教科（工業・家庭）の学習とともに、就職に必要な基礎知識・一般教養を身に付けていきます。学んだことを発表する場として、地域の公民館を会場に産業技術科展を開催しています。

【学校行事・学部行事】

体育祭と松ろう祭は全校で行う活気ある行事です。

高等部では、進路研修会や企業見学などの進路学習をおこないます。また、産業技術科では、現場実習を実施し、働く力を知るとともに、自分自身の将来について考える機会としています。

【部活動】

- ◆運動部／陸上部・卓球部

【各種資格取得】

実用英語技能検定、ビジネス文書実務検定、日本漢字能力検定、全国高等学校家庭科技術検定などの資格試験に挑戦しています。



授業の様子

島根県立 浜田ろう学校

所在地：〒697-0003 浜田市国分町342-2
電話番号：(0855) 28-0146
教育相談直通：(0855) 28-3933
FAX 番号：(0855) 28-2063
Eメール：hamadaro@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://www.hamarou.ed.jp/



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

- ◆美術工芸科 単一障がい 1学級
重複障がい 1学級
- ◆被服科 単一障がい 1学級
重複障がい 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

高等部生徒数 1名 (R4.5.1現在)

学校の特徴

【校訓】

- 明るく (健康・明朗性)
- なかよく (協調・社会性)
- たくましく (自立・自主性)

【学校教育目標】

自ら考え、自ら判断し、自ら行動する、心豊かにたくましく社会で生きる自立した人間の育成

【めざす学校像】

- ◆子どもたちが、自己の可能性を最大限に伸ばし、自己実現のできる学校
- ◆聴覚や視覚に障がいのある子どもたちに対し、障がいの状態や発達段階に応じた的確な指導や支援ができる学校
- ◆高い専門性に基づいた教育の実践と、地域の特別支援教育に対する中心的役割を担う学校

【スローガン】

伝えよう つながろう 夢に向かって

高等部の特色

本校では、幼稚部から高等部までの一貫教育を行っています。学部を超えた活動を取り入れるなど、望ましい集団づくりを目的とした教育に取り組んでいます。

【学校行事】

全校遠足、浜ろうフェスティバル、ひまわりプロジェクト、地雷撤去協力プロジェクト、サケの稚魚放流活動など、児童生徒会が中心となって取り組む行事では、生徒達が主体的に考え話し合う活動を大事にしています。また、修学旅行、地域の方との手話学習会、スキー教室、体験学習など、校外の方々と関わりながら多くの学びを培っています。

【部活動】

卓球部は長い歴史をもち、中国地区ろう学校体育大会及び全国聾学校体育大会、全国障害者スポーツ大会、高体連主催の大会などに出場しています。剣道部は、市内の高校と合同練習を行い、高体連主催の大会に出場しています。

【各科の特色】

「美術工芸科」と「被服科」の2つの科が設けられ、それぞれ「美術」・「工業」、「家庭」を専門的に学ぶことができます。また、各科には就職や進学など個々のニーズに応じた3つのカリキュラムがあり、一人一人の進路実現に向けて、きめ細かい教科指導・進路指導を行っています。



被服科の授業の様子



島根県立 松江養護学校

本校(総合コース・職業コース)／安来分教室

川津校舎	所在地：〒690-0823 松江市西川津町31
	電話番号：(0852) 26-6880
	FAX 番号：(0852) 26-6871
	Eメール：matsueyogo@pref.shimane.lg.jp
	HPアドレス：https://www.shimanet.ed.jp/matsueyogo/
乃木校舎	所在地：〒690-0046 松江市乃木福富町733-2
	電話番号：(0852) 21-3673
	FAX 番号：(0852) 28-5755
安来分教室	所在地：〒692-0031 安来市佐久保町115
	電話番号：(0854) 22-2680
	FAX 番号：(0854) 22-2681

設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

【本校(総合コース・職業コース)】*入学時にコース選考あり

- ◆普通科 単一障がい 5学級
- 重複障がい 10学級

【安来分教室】

- ◆普通科 単一障がい 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

高等部生徒数 181名(R4.5.1現在)

川津校舎	85名
乃木校舎	83名
安来分教室	13名

学校・学部の特徴

「#もっと!まつよう」

(1) 目標

『自立と社会参加を目指し、実社会、実生活の中で汎用性の高い力を培うとともに、自分や他人を大切にしながら、地域の中で力強く生き抜いていこうとする態度を育む。』

*高等部では、一人一人のニーズに応じた「働く力」「生活する力」「人とかかわる力」の育成をめざします。

(2) 学習

将来の自立した生活をめざして、課題解決・体験型の学習を中心に行います。



本校総合コース川津校舎



本校職業コース乃木校舎



安来分教室 作業棟

- 作業学習** 働く上で必要な態度・技能を身につける高等部の中心的な学習です。
- 進路学習** よりよい自己理解や進路選択をしていけるように、進路学習を3年間通じて行います。
- 現場実習** 各学年で福祉施設や一般事業所に出かけ、産業現場等における実習(現場実習)を行っています。
- 自立活動** 障がいによる学習上、生活上の困難を改善・克服するための学習です。社会生活を営んだり、人と上手にかかわっていったりするためにはどうすればよいか、実践的な内容を取り入れています。

職業教育の特色

【川津校舎：総合コース】

集団での学びあいを大切にしながら必要な支援や環境を整えて学習していきます。作業学習は6つの班に分かれて行い、働く上での基本的な態度や技能を身につけます。販売会(ワークアップ松養など)や、製菓班によるカフェなど地域との交流にも力を入れています。

【乃木校舎：職業コース】

卒業後の職業自立に向けて、職業生活に必要な知識の習得や技能の向上、実践的な態度の育成を目指します。5つの店舗経営を展開する作業班に分かれ、地域の方を対象に店舗を開いて、実践的な学習を行っています。

【安来分教室：地域密着!!の作業学習】

安来高等学校内に開設されています。地域の食材や自分たちで育てた無農薬有機野菜を原材料とした、ジャム、パン、お菓子などの製造や地域の中での販売会を中心にした作業学習に取り組んでいます。

2年生ではデュアルシステムによる現場実習を行い、週に1度地域の職場で実際に働きながら学んでいます。(全7回程度)



安来分教室 作業学習の様子



島根県立 出雲養護学校

(本校／邇摩分教室／雲南分教室)

本校	所在地：〒699-0822 出雲市神西沖町2485
	電話番号：(0853) 43-3570
	FAX 番号：(0853) 43-1355
	Eメール：izumo-yogo@edu.pref.shimane.jp
校	HPアドレス：https://izumoyougo.ed.jp/
	
邇摩分教室	所在地：〒699-2301 大田市仁摩町仁万907
	電話番号：(0854) 88-9060
	FAX 番号：(0854) 88-9061
	Eメール：nima-bun@edu.pref.shimane.jp
雲南分教室	所在地：〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋1212-32
	電話番号：(0854) 45-0388
	FAX 番号：(0854) 45-5655
	Eメール：unnan-bun@edu.pref.shimane.jp

設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

【本校】	◆普通科	単一障がい	4学級
		重複障がい	6学級
【邇摩分教室】	◆普通科	単一障がい	1学級
【雲南分教室】	◆普通科	単一障がい	1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

高等部生徒数 150名 (R4.5.1現在)

本校	128名
邇摩分教室	8名
雲南分教室	14名

学校特色

めざす児童生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

地域で生きる人になる

重点テーマ

個性を生かして地域とつながろう

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

自分の可能性を切り開くことに意欲が持てる生徒

高等部の目標

- ①自ら学び考える力の育成
- ②主体的に実践する力の育成
- ③集団や地域の中でよりよいつながりをもてる力の育成



本校



邇摩分教室



雲南分教室

高等部の学習

将来の自立や就労に向けた学習に取り組んでいます。
(以下、本校の例)

◆教科等を合わせた学習

作業学習 (週当たり 6 ～ 12 時間)

作業班

【基礎コース・総合コース】

◆総合作業 ◆製菓 ◆木工 ◆リサイクル ◆窯業 ◆園芸

【職業コース】

◆クリーンサービス ◆食堂サービス ◆農業・加工
◆地域サービス

生活単元学習 (週当たり 3 ～ 8 時間)

実際の生活に生かせる内容等を単元化して取り組む学習

◆教科別の学習 (週当たり各 12 ～ 15 時間)

国語、数学、社会、音楽、美術、家庭、保健体育など

◆総合的な探究の時間 (年間 50 時間)

社会生活に向けて主体的に判断し、問題解決をしていく学習

◆自立活動 (週当たり 1 ～ 3 時間)

障がいの状態や特性から生じる課題を改善克服する学習

◆その他

現場実習

生徒の実態に応じ、福祉施設や一般企業等において職業体験を行う学習 (年 2 回程度、1 ～ 3 週間ずつ実施)



食堂サービス班 (地域に向けた営業日でのランチの提供)



島根県立 石見養護学校

所在地：〒696-0102 邑智郡邑南町中野2384-18
電話番号：(0855) 95-0319
FAX 番号：(0855) 95-0291
Eメール：iwami-yogo@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://iwami-yogo.ed.jp



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

- ◆普通科 単一学級 1学級
- 重複学級 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。



高等部生徒数 15名 (R4.5.1現在)



学校の特徴

◆学校目標

じりつ こうけん きょうどう
「自立」「貢献」「協働」

を掲げ、体験的な学習や実習等を通じて地域の人や仲間とのふれあいの中で学び合います。

- ◆中国山地の山間部に位置する少人数の学校（小学部 4 名、中学部 2 名、高等部 15 名 R4.5.1 現在）で、小学部から高等部までの活動の様子がお互いによくわかる学校です。

- ◆本校は、「福祉の町」邑南町の『四ツ葉の里』という福祉ゾーンの中にあり、近隣の障がい者施設（緑風園・くるみ邑美園・愛香園）と連携し、行事や現場実習等を行っています。

- ◆特別教室棟は、作業学習で使用する作業室や、宿泊学習やグループホームでの生活が体験できる宿泊訓練室等、充実した学習環境が整っています。

- ◆石見町立（現 邑南町）の養護学校から始まった地域の中で育てられた学校です。県内の知的障がいの学校でいちばんに高等部を設置し、職業教育を始めた学校です。これからも、地域の中で育ち、育てられ、地域とのかかわりの中で、一人一人の思いや教育的ニーズを最大限に生かした「オンリーワンの教育」をめざします。



特色ある学習

①作業学習

週 8 ～ 12 時間設定しています。将来、社会で働くために必要な力を付ける学習を行っています。【作業班は園芸・製菓・木工・窯業の 4 班です。】

②進路学習

職業や社会生活についての自己選択、自己決定を拡充し、主体的な社会参加に向け学習しています。（自分を知る、将来について、様々な制度について学ぶ、余暇活動等）
また、障がい者技能競技大会（アビリンピック）等にも参加し、各種技能の向上にも取り組んでいます。

③現場実習

年間 2 回 1 ～ 3 週間ずつ町内や出身地域の企業・福祉施設等での体験実習を行います。

④地域とつながった学習活動

地域の社会資源を活用した授業を積極的に行っています。町内の道の駅やショッピングセンターでの作業製品の販売や、地域に出かけてのボランティア活動に取り組んでいます。また、近隣の町にも出かけて販売活動（IWAMI マルシェ）を行っています。

⑤部活動等

陸上・卓球の 2 つの部活動があります。



～邑南町ウッズスタート事業～
町内の 1 歳半健診でつみ木のプレゼント（木工班）



島根県立
浜田養護学校

所在地：〒697-0003 浜田市国分町342-2
電話番号：(0855) 28-2200(寄宿舍:28-2860)
FAX 番号：(0855) 28-2201
Eメール：hamadayogo@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/hamadayogo



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

- ◆普通科 単一障がい 2学級
- 重複障がい 5学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

高等部生徒数 55名(R4.5.1現在)

学校の特徴

【校訓】

- 明るく (健康・明朗性)
- なかよく (協調・社会性)
- 力いっぱい (自立・自主性)

【教育目標】

- 児童生徒一人一人の
- 自立と主体的な社会参加を目指し
- 生きる力や豊かな人間性を育む

【目指す子ども像】(育てたい資質・能力)

- ◆知力 …しっかり考える
- ◆ふるまい …あいさつ、思いやり
- ◆達成力 …最後までやりとおす
- ◆協働力 …力を合わせて
- ◆貢献力 …みんなのために

高等部の教育

【基礎コース(1年)】

社会生活・職業生活の基礎となる知識・技能・態度を知り、専門的な学習に挑戦することで、職業人としての基盤を作る

【総合コース(2年)】

体験的な学習に取り組むことで、自分にあった生活や就労について知り、社会人として豊かに就労生活を送るための基盤を作る

【総合コース(3年)】

一人一人の生活や就労のニーズに応じた段階的な学習に取り組むことで、社会人として豊かに就労生活を送ることのできる能力と態度を身につける

【職業コース(2年)】

就労先で求められる知識・技能・態度を知り、専門的な学習に挑戦することで、職業人としての基盤を作る

【職業コース(3年)】

就労先で求められる知識・技能・態度を理解し、専門的な学習に取り組むことで、職業人としての資質向上を目指す

全国的にもめずらしい【水産班】

(基礎コース・総合コースの作業学習の一つ)





島根県立 益田養護学校

所在地：〒699-5132 益田市横田町2120番1
電話番号：(0856)31-5111
FAX 番号：(0856)31-5114
Eメール：masuda-yogo@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimane.ed.jp/masudayougo/



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

【知的障がい教育】

- ◆普通科 単一障がい 2学級
- ◆普通科 重複障がい 2学級

【肢体不自由教育】

- ◆普通科 今年度在籍なし

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。



高等部生徒数 49名 (R4.5.1現在)



学校の特徴

益田・鹿足圏域に唯一の特別支援学校として、平成12年に開校し、知的障がい教育と肢体不自由教育の二つの部門があり、障がいのある児童生徒の教育的ニーズに対応した教育を行っています。

【校訓】『自分から』『力を合わせて』『元気いっぱい』

【教育目標】

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動の中で、主体的、協働的な人間性と健康な心身を培い、夢や目標に向かって、地域の中で学び合いながら、「生きる力」を育成する。

【めざす児童生徒像】

- ◆夢や目標をもち、主体的、意欲的に活動する子ども
- ◆思いやりをもち、力を合わせて学ぼうとする子ども
- ◆基本的な生活習慣を身につけ、健康な心身で社会（周りのひと・もの・こと）に発信、貢献しようとする子ども



高等部の教育

【教育課程】

「各教科」「道徳科」「特別活動」「総合的な探究の時間」及び障がいに基づく困難を改善・克服するための「自立活動」によって教育課程が編成されている。また、各教科等を合わせた指導形態で「生活単元学習」や「作業学習」にも取り組んでいる。

【生活単元学習】3年間を見通し、「職業生活」、「家庭・地域生活」など年間計画に基づいて、日々の生活や働く上で基本となる知識・マナー、課題を解決する力を学習しています。

【作業学習】週2日、7つの作業班【清掃・サービス班、農産加工班、園芸班、食品加工班、木工班、窯業班、アシスト班】に分かれ、それぞれの作業を通して社会で働くための基礎的な力や、より専門的な力、応用力を培います。

【自立活動】個々の生徒が自立と社会参加を目指し、学習上や生活上の困難さと向き合います。各教科等と自立活動における時間の指導を密接に関連させながら教育活動全体を通して改善・克服に取り組みます。

【進路学習】

【現場実習】年間4～6週間行い、実際の職場での体験を通して働く力の向上を図るとともに、職業適性などの自己理解を深め、生徒個々に応じた就労を目指します。

【施設見学】卒業生の働く職場の見学や、その他市内の事業所や支援機関の見学を行い、卒業後の生活に見通しをもつための学習を行います。

【コース制】

知的障がい教育部門は、コース制をとっており、1年生は全員基礎コースで学び、2年生より総合コースと職業コースに分かれて学習します。

【主な高等部の行事】

作業製品販売会（年3回）、校外学習、宿泊学習、修学旅行、マラソン大会など



農産加工班（加工作業の様子）



島根県立 隠岐養護学校

所在地：〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町363
電話番号：(08512) 2-3593
FAX 番号：(08512) 2-3142
Eメール：okiyogo@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.okiyougo.ed.jp



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

◆普通科 単一障がい 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。



高等部生徒数 13名 (R4.5.1現在)



マスコットキャラクター
「ヤビー」



学校の特徴

【学校教育目標】

「児童生徒一人一人の障がいや発達に即した適正な教育を行い、仲よく、明るく、たくましい人間への成長発達をめずす。」

【高等部教育目標】

- ◆健康な身体づくりと基本的な生活習慣の確立
- ◆自分の意思を表現し、主体的にかかわっていこうとする力の育成
- ◆集団的な活動をととして、他者と協働する力の育成
- ◆自立に向けての生活力や働く力の育成

【校訓】

「仲よく 明るく たくましく」

本校は、昭和54年4月、「隠岐の子の教育は隠岐で」という地域や保護者の願いを受けて、隠岐でただ一つの特別支援学校として開校しました。平成8年には高等部も設置されました。

また、離島にある小さな特別支援学校として、特に地域に開かれた学校づくりに取り組んでいます。全校児童生徒21名ですが、運動会や隠岐養護まつり、みんなでつくる発表会などの行事をはじめ、さまざまな学習活動を通して、小・中・高等学校や福祉施設、地域との交流を行い、多くの方々とのかかわりを深めています。



その他

本校高等部は、健康や体力の維持・増進を図ること、社会参加、自立を目指して生活する力と働く力を育てることを目標に、校内だけでなく地域社会に出かけさまざまな集団の中で活動しています。

【主な学校行事・学習活動】

- ◆隠岐なかよし大運動会（島前・島後の特別支援学級、交流小学校、保育所、卒業生等参加）
- ◆隠岐養護まつり（学習発表や作業製品の販売）
- ◆みんなでつくる発表会（劇、踊り、演奏等学習成果の発表。島内の福祉施設とともに実施）
- ◆岐楽市（地域の大型商店での作業製品の販売会）
- ◆現場実習（事業所や福祉施設での職場体験学習）
- ◆野外活動（ハイキング、マリンスポーツ体験等）
- ◆島内の高校との交流及び共同学習（水産加工実習・文化祭への参加等）

【児童生徒会活動】

全校の児童生徒が個々に役割をもって委員会活動に取り組んでいます。また、執行部を中心に運動会やまつりでみんなが楽しめる活動を企画・運営しています。

【部活動】

毎年9月の島根県特別支援学校総合体育大会（フットサル競技）に向けて練習に取り組んでいます。夏期休業中には強化練習会を行い、一層の体力づくりに努めています。その他の時期は、長距離走、バスケットボール等に取り組んでいます。



島根県特別支援学校総合体育大会に向けて～フットサルチーム～



島根県立 松江清心養護学校

所在地：〒690-0864 松江市東生馬町11
電話番号：(0852) 36-8720/<職員室直通36-8764>
FAX番号：(0852) 36-8738/<職員室直通36-8751>
Eメール：seishin-yogo@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://www.shimanet.ed.jp/seishin/



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

◆普通科 単一障がい

重複障がい 2学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。



高等部生徒数 18名(R4.5.1現在)



学校の特徴

【学校教育目標】

自立と社会参加を目指し、共生社会の中をたくましく生きていく児童生徒の育成

【めざす児童生徒像】

豊かな心を持ち たくましく未来を切り拓いていく子

育成をめざす資質・能力の三つの柱

共に生きる子(共生)

「ひと」「もの」「こと」に進んで関わり、互いに感じあい支えあって共に生きていく子ども

学びに向かう力・人間性等

求め続ける子(探究)

学びへの関心や意欲をもち、常に学びを求め続ける子ども

知識・技能

創りあげる子(創造)

自分の思いや願いを大切に、進んで自己の改善を図り、創造的に学ぼうとする子ども

思考力・判断力・表現力等

- ・児童生徒が主体的に学ぶことができる授業の充実
- ・児童生徒が地域の中で学び、豊かな生活を送るための体制作り
- ・児童生徒が安心安全に学ぶことができる教育環境の整備

【高等部の目標】

「積極的に社会にかかわり

豊かに生きようとする生徒の育成」



肢体不自由教育を
専門とする
特別支援学校です。



教育課程と学校行事の様子

一人一人の特性や障がいの状況に応じた授業を行っています。

- ◆自立活動を主とした教育課程
- ◆知的障がいを教育する特別支援学校の各教科等を取り入れた教育課程
- ◆高等学校に準ずる教育課程

隣接する「東部島根医療福祉センター」と相互協力のもと、専門の機能訓練士(PT:理学療法士・OT:作業療法士・ST:言語聴覚士)と連携等を行い、自立活動の指導に取り組んでいます。

【主な学校行事・学部行事】

スポーツフェスティバル



修学旅行



フェスティバル



【施設・設備】

生徒が自立を目指し、のびのびと、心豊かな学校生活を送ることができるように配慮した環境

- ◆ICT 機器や支援機器等を使った学習
- ◆歩行訓練用の階段
- ◆手すり付きトイレ ◆温水プール
- ◆エレベーター ◆自立活動室
- ◆リフトつきスクールバス 等





島根県立 江津清和養護学校

所在地：〒695-0001 江津市渡津町772
電話番号：(0855) 52-2613
FAX 番号：(0855) 52-2614
Eメール：seiwayogo@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/seiwa/



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

【肢体不自由教育】

- ◆普通科 単一障がい 1学級
- 重複障がい 1学級

【病弱教育】

- ◆普通科 単一障がい 1学級
- 重複障がい 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

高等部生徒数 11名(R4.5.1現在)

学校の特徴

【校訓】「明るく 楽しく 元気よく」

【教育目標】

- ◆児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を行い、個々に応じた社会性や豊かな人間性、主体性をはぐくみ、心身ともに健康な児童生徒の育成をめざすとともに、生涯を通じて豊かに生活するために必要な「生きる力（健康・体力・生活習慣・学力・社会力・人間力）」をはぐくむ。

【育てたい児童生徒像】

- ◆自分らしさを大切にして、主体的に生きる児童生徒
- ◆仲間に思いを伝え、認め合い学び合う児童生徒
- ◆心身ともに健康で、何事にも前向きに取り組む児童生徒

【高等部目標】

- ◆自分の考えをもって、表現したり行動したりする。
- ◆自分を取りまく人たちとよりよい関係をつくり、生活をする。
- ◆元気な心と体で、様々なことに挑戦し最後まで取り組む。

江津清和養護学校での学習

【教育課程】

一人一人の障がいの状態を考慮して以下のような教育課程で学習をしています。

- ◆自立活動を主とした教育課程（Ⅰ類型）
- ◆知的障がい者を教育する特別支援学校の各教科等を取り入れた教育課程（Ⅱ類型）
- ◆高等学校に準ずる教育課程（Ⅲ類型）

【学校行事】

福島ひまわり里親プロジェクト、学習発表会、小さな巨匠展等の学校行事があり、小学部から高等部までの全校児童生徒が一緒に取り組んでいます。

【進路状況】

進学や一般就労、福祉事業所利用等、生徒一人一人に合わせた実習や体験等を行いながら進路先を決定していきます。

【通学について】

家庭から通学する生徒と隣接する医療機関から通学する生徒がいます。

【訪問教育について】

障がいが重度又は重複しており、医療上の規制や生活上の規制を受けて通学することが難しい場合は、自宅や病院に教員が出向いて学習をします。

【入学について】

本校高等部に入学を希望する場合は、就学相談会（10月）への参加と入学者選抜検査（2月）の受検が必要です。（詳細は本校までお問い合わせください）



校外学習（Ⅱ類型）



島根県立 松江緑が丘養護学校

所在地：〒690-0015 松江市上乃木五丁目18番1号
電話番号：(0852) 23-9500
FAX番号：(0852) 23-9517
Eメール：midorigaokayogo@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/midori/



設置学科 学級数

(令和4年度第1学年の学級数)

- ◆普通科 単一障がい 1学級
- 重複障がい 1学級

※令和5年度の設置学科・学級数は、12月に発表。



高等部生徒数 27名 (R4.5.1現在)



学校の特徴

本校は、病弱教育特別支援学校です。身体や心に様々な病気のある児童生徒のための学校です。「小学部」「中学部」「高等部」の3つの学部があり、児童生徒の実態に合わせて教育課程や学習形態を工夫しています。

(1) 教育目標

- ①病弱虚弱によるさまざまな困難を改善・克服し、心豊かに生きる児童生徒を育てる
- ②人権尊重の精神を基盤に、自己を大切にし、他者を思いやる心を持つ児童生徒を育てる
- ③自己の能力の可能性を伸ばし、自立や社会参加をめざす児童生徒を育てる

(2) 本校のめざす児童生徒像

- ◆自分を知る 心豊かな人
- ◆人とつながることを大切にする人
- ◆考え創り出す人

(3) 教育課程の工夫と特徴

生徒の病気や障がいの種類、状況は様々です。教育内容を一人一人の実態に適したものにするために、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、必要な工夫や配慮をしています。教育課程は大まかに以下のように設定しています。

(4) 教育課程の特徴

- ◆A型…高等学校普通科に準ずる教育課程で当該学年の内容を学習します。
- ◆B型…高等学校普通科に準ずる教育課程で下学年の内容から学習します。
- ◆C型…日常生活に結びついた教科や自立活動を中心とする教育課程で学習します。

「産業社会と人間」や「ワーキングタイム」等の授業を通して、社会人としてのルールやマナー、働く力の向上に取り組んでいます。また、就労に向けた現場実習にも取り組んでいます。生徒一人一人が主体的により豊かに生き、自立を目指していくための自立活動の学習も行います。

(5) 学校行事

全校集会、みどりが丘まつり（文化祭）など多くの学校行事を小・中学部と一緒に実施しています。

(6) 進路支援

生徒一人一人の状況に合わせた進路支援を行っています。卒業生は福祉サービス、福祉就労を利用したり、専門学校等へ進学したりしています。卒業後のサポート体制も本校在籍中から進路相談会などを通して考えていきます。



高等部 新入生歓迎会の様子